

～ PDCAでは遅すぎる! ～

誰でもできる 不良ゼロ実践セミナー

開催日時 2023年 8月 1日(火) オンライン
2023年 10月 12日(木) 大阪会場
2024年 3月 4日(月) オンライン 各回とも 10:00～17:00

対 象 • 今までのやり方に限界を感じている方 • 改善活動がうまく推進できていないリーダー • 製造現場の管理監督者

講 師 中崎 勝氏
(株)ロンド・アプリウェアサービス
代表取締役社長

参加料(税込)

法人会員: 51,150円/1名

会 員 外: 56,650円/1名

※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。
※昼食の提供はございません。(各自でご用意ください。)
※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。
<https://www.jma.or.jp/membership/>
※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。
●早期割引: 会期 1 か月前までの申込で2022年度と同じ料金で申し込みます。

本セミナーのねらい

経営環境の変化に伴い、製造業に携わる方々には、多品種少量生産が当たり前になっています。さらに商品のライフサイクルも短くなり、働き方改革で労働時間への制約が厳しくなり、じっくりと製造工程の改善を考える時間が捻出できない時代になっています。

そんな時代においても、不良ゼロはだれでも実現させることができます。本セミナーでは講師が27年の経験から生み出した考え方と進め方を体系化したツールを紹介し、このツールは、実際にコンサルティングに使っているものであり、スピーディーに効果を出すことができます。

本セミナーの内容を実践することにより、「不良って、こんなに簡単にゼロになるんだ。一体自分は今まで何に悩んでいたんだろう」と感じていただければ幸いです。

参加者の声

- ポカミスゼロへのアプローチでは、今ある環境を利用してお金をかけずに実践できることに改めて気づくことができました。
- しっかりやってきたつもりだったが、ポカミス教育の実施など、まだまだやるべきことが多くあることに気づけて良いセミナーだった。
- 今までは不良が起きた際に少人数で話しをして原因追及を行ってきたが、今回学んだ要因や対策で解決に持っていくことができるようになると圧倒的に時間をかけずに不良ゼロに近づけることができると思った。
- ポカミスを減らすための意識改善について明確化しており、理解しやすかった。
- 講師の説明が上手で聞きやすかった。
- 実体験を多く話していただき、自分の職場に置き換えた時のイメージがとてつときやすかった。

■ プログラム

10:00～17:00 [昼食] 12:00～13:00

1 不良ゼロの9原則

- 原則① 不良は結果
 - 原則② 不良の要因は71
 - 原則③ 対策は54
 - 原則④ 改善ツールは10
 - 原則⑤ 要素別改善: 不良の原因がわからなくても対策はできる
 - 原則⑥ データ分析: QCツールの弱点を克服する
 - 原則⑦ 発生工程の見つけ方: 異物不良とキズ対策
 - 原則⑧ 現物・現場: 要因から原因を突き止める
 - 原則⑨ 現象の連鎖: 普段悩まされている不良の発生メカニズム
- 不良ゼロの9原則を知れば、「なぜなぜ分析」はもういらない
 - 不良ゼロへのアプローチ

2 異物ゼロへのアプローチ

- 異物は感性
- 異物不良の発生メカニズム
- 異物の正体: 物性、大きさ、形、色で認識
- 13の発生源への対策で根源を絶つ
- 5つの伝達経路対策で経路を遮断する
- 清掃は最強のツール: 効率的清掃の仕方

3 ポカミスゼロへのアプローチ

- ポカミス20の要因
- 人の改善に対する方程式: 20の対策
- 知らなかった対策
- NG/OKシートでポカミスの80%はなくなる
- ルールを守らせるには
標準整備→ビデオ標準
教育・訓練のしくみづくり→戦略的人材育成
- うっかり対策: うっかりは人の性
作業者思いのうっかり対策
- AIによるポカミス対策: 検査、入力、判断ミス
- ポカミス対策の進め方

4 モラルアップへのアプローチ

- ー 職場の活性化、改善活動の成功と継続 ー
- モラルとはやる気、貢献意欲、チャレンジ精神
- 日本人のモラルは低い?
- モラルに関する5原則
- 小集団活動を活用したモラルマネジメント
- 尊敬される上司になる
- 人は環境の生き物

※プログラム内容は変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

